



ONE TEAMで もっと賃上げ・生活改善
－ 労働条件改善を加速させ、人財の確保・定着につなげよう－

2025年 2月21日

日本鉄道労働組合連合会

J R グループ 労組連絡会 2025 春闘総決起集会

J R グループ 労組連絡会は 2 月 13 日、大阪市内で 2 0 2 5 春闘総決起集会を開催し、**月例賃金総額18,000円(6%)以上**の引き上げ「**統一ベア要求12,000円(4%)以上**」などを軸とした J R 連合 2 0 2 5 春季生活闘争方針に基づき、ONE TEAMで統一闘争を展開する意思を固めあった。

冒頭、あいさつした奥村敬弥代表幹事（東海交通事業労組 執行副委員長）は、「人財の確保・定着は J R グループ 労使の最大の課題であり、前年実績を上回る賃上げを実現させ、夏に開催する総会に大きな成果を持ち寄ろう」と呼びかけた。



奥村代表幹事

J R 連合執行部を代表してあいさつした荻山市朗会長は、「J R 産業の賃金改善はコロナ禍の影響で周回遅れとなっており、厳しい



荻山会長

採用競争や離職者数の高止まりに労使で危機感を持ち、魅力高く持続性のある J R 産業をつくりあげよう」と訴えた。

その後、住吉一家事務局長（J R 連合 労働政策局長）から、J R 連合の 2 0 2 5 春季生活闘争方針（詳細は「J R 連合 NEWS～2025 春闘～NO.1」などを参照）が提起され、各分科会の代表 6 名から「物価上昇を上回る賃上げの実現」「目標賃金への到達を目指す」「適正

取引・価格転嫁の推進に取り組む」など、2 0 2 5 春闘に向けた決意が表明された。

最後に、「人財の確保・定着を実現させるため、ONE TEAMで闘い抜くとともに、J R 連合への総結集に向けて未来を切り開こう」と呼びかける集会アピールを採択し、奥村代表幹事の団結ガンバロウにより J R グループ 労組連絡会の 2 0 2 5 春季生活闘争をスタートさせた。



上段：各分科会代表者

下段：奥村代表幹事による団結ガンバロウ